

【平成24年4月】

- 〈背景〉 少子高齢化・核家族化、人口減少・高齢者増で介護の不安  
介護保険施設は待機者増で在宅介護者増、住民同士のつながり希薄  
三谷町内の要介護認定者数 65歳以上の人口に対して24.5%  
○「互いに助け合い、支え合っていく仕組みづくり」が重要
- 〈ねらい〉 三谷のまちづくり再生「人と人との絆を大切にしたいあんしんして暮らせるまちづくり」  
※高松市ゆめづくり推進事業採択  
※先進地視察研修 「予防は治療に勝る」「健康寿命(元気で暮らせる寿命)を延ばす」  
「元気な高齢者生き活き塾」「高齢者居場所づくり」等
- 〈当面の取組み〉 「住民同士の交流を深めること」「誰でも参加できる集いのリーダー養成」  
・居場所、生きがいづくり ・声掛け運動 ・茶話会 ・趣味の会 等
- 〈将来的な取組み〉 「在宅介護者増に伴う支援活動」  
「高齢者を地域で支える体制づくり、介護の不安解消」  
・訪問介護サービス提供(元気な人が介護ヘルパー資格取得)  
・有償生活支援システム構築(公的介護サービスで賄えないものの支援)  
・循環型支援システム構築(元気な高齢者が支援の必要な高齢者支援)

【平成24・25年度の主な取組み・実績】

- ① ワークショップメンバーを募り協議 25名でスタート、25年度より単位自治で一人以上 約50名
- ② ワークショップの開催〔24年度11回、25年度11回〕
- ③ 先進地の視察〔安曇野市「JAあづみ」、高知県津野町「森の巣箱」「地域応援隊」、香川県観音寺市「豊田団地・ひだまり」、琴平町「居場所づくり・ちょっとこ場・配食サービス」等〕
- ④ 県高齢者等支え合いリーダー養成セミナー等参加
- ⑤ 町内自治会へ取組みの趣旨説明会
- ⑥ 「あんしんして暮らせるまちづくり」に関する住民意識アンケート実施
- ⑦ 講演会「あんしんして暮らせるまちづくり」、社会福祉協議会の出前講座、講話の開催
- ⑧ 備品の購入及び貸出や周知文、印刷代の免除  
DVD プレイヤー、プロジェクター、体操用具、血圧計、ハタ織り機、和椅子、かき氷機 等
- ⑨ 各単位自治等で「高齢者等の居場所づくり」を実施、その名称は「あんしん広場・地区名・〇〇」  
平成26年度末、町内22集会場があり、20集会場で「あんしん広場」が開催
- ⑩ 研修係、広報係、各実務担当係(料理、体操・レク、手芸等)を選出
- ⑪ 住民への啓発広報として「あんまち通信」を発行(1号～7号)
- ⑫ 県事業で三谷町の取組みについて事例発表
- ⑬ グループ討議『各自治あんまち広場情報交換』『組織や予算について』『三谷町全体の取組み』『買い物弱者・生活交通手段』(コミュニティバス運行事業導入についての説明)「支援者の地域支援マップ」等
- ⑭ 「組織の見直しと予算」より「あんしんして暮らせるまちづくり(あんまち)・ワークショップ」から「あんまち部」として立ち上げることが役員会で決定(平成26年11月)
- ⑮ 6地区から幹事選出、部長等の役職を決め、研修・広報係長2名、事務局員1名を加え、1月より幹事会を行い、全体会は専門部として仮運営で試行
- ⑯ 平成26年度より「あんまち部」発足、各地区から部員選出、新メンバーが加わり、幹事・役員の選出

平成26年度 取組みポイント！！

- 「あんしん広場」の居場所づくりの充実
- 生活支援の必要な状況の情報収集と対応
- 「あんしん広場」の理解啓発
- 「あんしん広場」の地区リーダー養成 等

キャッチフレーズ

広げよう！！  
三谷町の  
“あんしん広場”の輪と絆